

事務事業 No./名称	■サービス部門 子育て支援事業 □支援部門						
主管課	青少年課	関連課	子どもみらい課				
分野名	健康福祉						
目標 (目標値)	子育て支援情報を収集・提供・発信するほか、子育て支援行事等を実施する。つどいの広場事業等の実施や、子どもが安全・安心して生活ができる環境づくりを行う。						
人口等のデータ	データ区分	23年度	22年度	21年度	備考 ・各年4月1日 (住民基本台帳)		
	人口	177,204人	177,161人	176,669人			
	世帯数	79,217世帯	78,812世帯	78,131世帯			
運営資源状況	事業の対象者数						
	決算値(千円)	403	572				
	(国・県)						
	(負担金等)						
	(一般財源)	403	572				
	人員配置数	0.2	0.1				
事務事業運営経費	人件費(千円)	1,876	936				
	協働のパートナー						
	総事業費(千円)	2,279	1,508				
ベンチマーク (県内外自治体や民間団体との比較値)	市民1人当りの経費(円)	13	9				
	対象者1人当りの経費(円)						
	団体名⇒						
指標	評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度(年度)
参加者数	○	目標値					
		実績値		921	1,063		

評価のポイント

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

小事業名	H23決算値	評価	適切=○、要改善=△(評価の視点を参照)	⇒ 方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止
子育て支援事業	403千円	①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 ○		⇒ ■A □B □C □D □E	
	事業の概要	子育て期にある親子に対して、子育ての助けになる講座を開催し、あわせて子育て中の保護者の交流を図るものである。			
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性		⇒ □A □B □C □D □E	
	事業の概要				
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性		⇒ □A □B □C □D □E	
	事業の概要				
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性		⇒ □A □B □C □D □E	
	事業の概要				

事務事業の課題及び取組状況

H23年度の課題	子育て期の親子にとって、開催場所が便利であることと、駐車場があることが求められる。
課題解決のための取組	親子が参加しやすいように、広く各地域で開催するなど対応を図った。
未解決の課題	子育ての助けとなるような講座の企画をし、周知を図りながら、より一層の参加を促す必要がある。

中事業の評価と今後の方向性

中事業の評価	適切=○ 要改善=△ (評価の視点を参照)	①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 ○	今後の方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止	※□事業完了
			子育ての支援となる講座を開催し、あわせて保護者間の交流の場として、多くの親子に参加していただけるよう、事業の充実、周知を図っていく。	↓ A	課長等名 青少年課長 能條 裕子

(2面) 個別事業の概要

(単位:千円)

小事業名	ザイムスコード	個別事業名	23年度予算	23年度決算値	個別事業の評価結果
子育て支援事業	110	子育て親子講座実施委託料	450	403	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり
					<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり
					<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり
					<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり
					<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり